

# 2010 年度県政スタート

## 報告書

(2010年4月9日～12日調査)

|         |   |
|---------|---|
| 調査の設計   | 1 |
| 結果の概要   | 2 |
| 今回のポイント | 5 |
| 質問ごとの内容 |   |
| 単純集計    |   |
| 調査票     |   |



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

この報告書は概要部分を抜粋したものです。より詳細な報告書は有料にて提供しています。

# I 調査の設計

## 調査の目的

村井県知事 1 期目の任期がことし 8 月末に迫るなか、2010 年度県政がスタートした。知事は「現任期を全うする」との発言を繰り返し、再選からみの去就に口を閉ざしたままだが、一部で新人擁立の動きがようやく表面化し始めた。

「改革」を掲げた田中前県政が戦後の県政の問い直しを迫り、県民世論を巻き込む振幅のはげしい時期を経て、村井県政は対照的におおむね波乱が少なく推移してきた。しかし、国政レベルで本格的な政権交代が実現し、地方が新たな政治状況でどう「主権確立」の道すじを見出していくか、重大な節目を迎えている。

県下の景況について、日銀松本支店が 4 月は「持ち直している」と判断を引き上げたものの「厳しい状況が続いている」との見方を維持したまま。とくに、非製造業の回復にはなお時間を要するとし、家計への回復の広がりはいぜん厳しく、県政のかじ取りはますます重要になっている。

4 年近くの村井県政を政策、運営手法の両面から点検し、今後の県政とより良きリーダー選択の方向性をつかむために、2010 年度スタートを機に、田中前県政と村井県政スタート時との比較を軸に、県民世論の動向を探る。

## 調査の設計

|      |  |
|------|--|
| 調査対象 | 県内に住む 20 歳以上の男女 800 人  |
| 抽出方法 | 県内を東北中南の 4 地区に分け、さらに 20 代～70 歳以上の 6 つの年代層・性に分割し“県下の有権者の縮図”となるように人数を比例配分して、各市・各郡の対象者数を設定。   |
| 調査方法 | 個別電話聞き取り・RDD(ランダム・デジット・ダイヤリング)法で実施。コンピューターで無作為に発生させてかける電話調査法で、電話帳に番号を載せていない人も調査できる。無作為に発生させた番号のうち、設定した年代・性の人を選び、目標の 800 人に達するまで抽出して聞き取りを行った。 |
| 調査地点 | 19 市 10 町 6 村  |
| 調査時期 | 2010 年 4 月 9 日～12 日  |
| 有効回答 | 800 人(男性 381 人 女性 419 人)   |

<注> 報告書のパーセント数字は小数点第 2 位を四捨五入。合計が 100 にならない場合がある。政党支持のうち第 3 位(共産党)以降のデータは、有効回答数が少ないため参考値扱いとする。

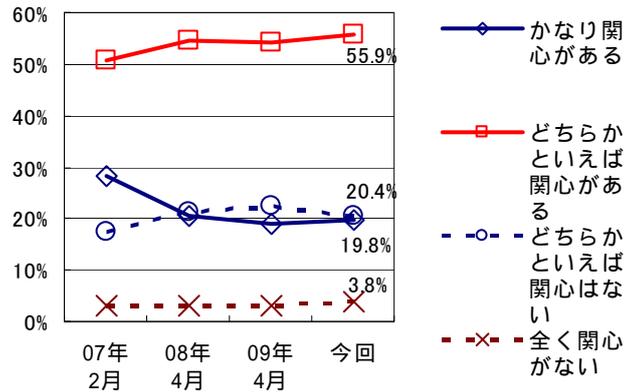
## II 結果の概要 村井県政4年間の受けとめ

### ◆県政に対する関心「ある」4人に3人

県政に対する関心度は総体で76%。「関心はない」は24%。この2年間、大きな変動はみられない。このうち「強い関心」が20%を占める。

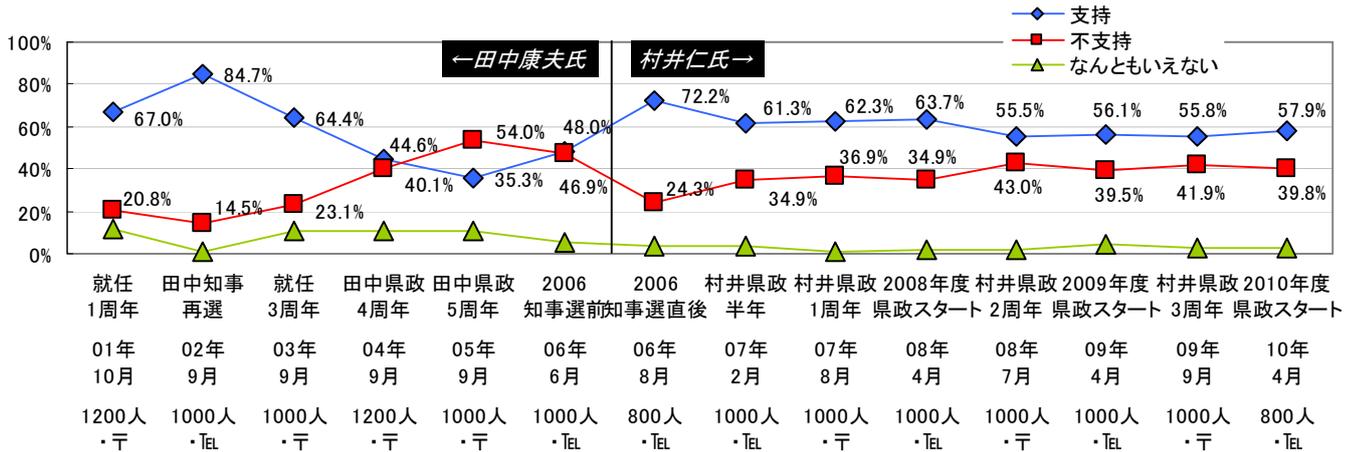
男女差はあまりみられない半面、高い年代層ほど関心度が高まり、60代以上で80%を突破する。しかし、20～40代では70%に届かない。

政党支持層では、民主党が77%、自民党は79%、支持なし層が75%と横並び状態。一方、そのほかの各党では、共産党で80%を超え最も高い半面、みんなの党では70%を割り込み、バラツキがみられる。



## 村井知事・県政の評価

### ◆支持ややアップ57.9% 不支持は動かず39.8%



＜注＞田中県政当時は「なんともいえない」を郵送調査(〒)のみ選択肢として明示。

村井知事・県政の支持が総体で57.9%、不支持は39.8%。直近調査の2009年9月の「村井県政3周年」(1000人・郵送)より支持が2.1%の上昇。支持の内訳は、強めの「支持する」が26.1%と10%の大幅アップ。

「どちらかといえば支持する」は31.8%と8%減少。他方、強めの不支持が5%増えたが、不支持の総体では微減にとどまる。

2006年8月の知事選初当選から通算8回の支持率は、単純平均で60.6%と大台をキープした。

|                | 01年10月 | 02年9月 | 03年9月 | 04年9月 | 05年9月 | 06年6月 | 06年8月 | 07年2月 | 07年8月 | 08年4月 | 08年7月 | 09年4月 | 09年9月 | 今回    |
|----------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 支持する           | 36.6%  | 50.5% | 29.7% | 15.1% | 11.6% | 14.1% | 35.9% | 20.6% | 19.6% | 22.4% | 17.8% | 15.9% | 16.0% | 26.1% |
| どちらかといえば支持する   | 30.4%  | 34.2% | 34.7% | 29.5% | 23.7% | 33.9% | 36.3% | 40.7% | 42.7% | 41.3% | 37.7% | 40.2% | 39.8% | 31.8% |
| どちらかといえば支持しない  | 10.1%  | 8.0%  | 11.4% | 17.5% | 18.0% | 25.9% | 14.0% | 24.6% | 24.9% | 24.6% | 30.7% | 28.7% | 28.7% | 21.3% |
| 支持しない          | 10.7%  | 6.5%  | 11.7% | 22.6% | 36.0% | 21.0% | 10.3% | 10.3% | 12.0% | 10.3% | 12.3% | 10.8% | 13.2% | 18.5% |
| なんともいえない・わからない | 12.0%  | 0.8%  | 11.1% | 11.0% | 10.3% | 5.1%  | 3.6%  | 3.8%  | 0.9%  | 1.4%  | 1.4%  | 4.4%  | 2.3%  | 2.4%  |
| 不明             | 0.2%   | -     | 1.3%  | 4.3%  | 0.4%  | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     |

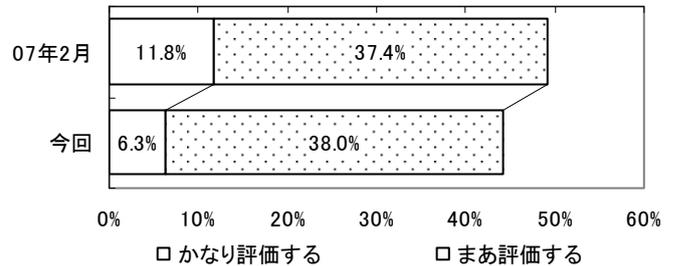
## 政策・事業面の評価

### ◆「全般的に評価する」44% 男女とも否定的が半数超

「評価する」総体が44%、「評価しない」は横ばいの52%。2007年の村井知事就任半年に比べると「評価する」総体で5%下がっている。昨年9月調査（村井県政3周年）よりも若干下がった。

男女とも否定的評価が半数を超え差はあまりない。年代層では50、70代で「評価する」が半数を超える。地域別では「評価しない」が南信の57%を最高に、北信でも半数を超す。

政党支持層では、民主党で否定的評価が60%を示し、無党派層でも半数を超す。他方、自民党では肯定的評価が64%と高い。



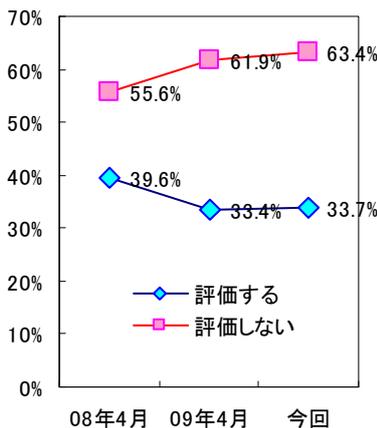
### 個別の政策・事業では

### 観光「評価する」最も高く48% 財政には厳しく

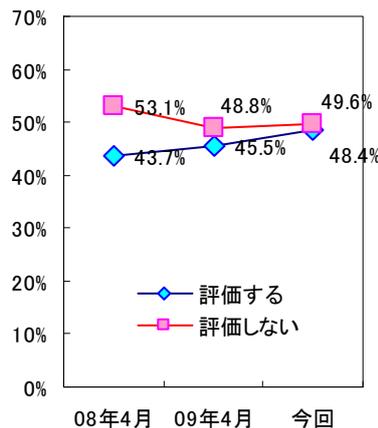
4つ挙げた個別政策・事業のうち「評価する」が最も高いのは観光振興の48%。しかし、1年前よりわずかの上昇にとどまる。続く景気のコ入れ・雇用の確保は横ばいの34%。三番手の財政のたて直しは下降して27%ときびしい。

浅川ダム建設は「評価する」が25%と1年前に比べて7%減少。「評価しない」は58%にのぼり「なんともいえない・わからない」が17%。村井県政発足半年（2007年2月）ではダム建設に「賛成」29%、「反対」27%と拮抗し「なんともいえない・わからない」が44%あった。

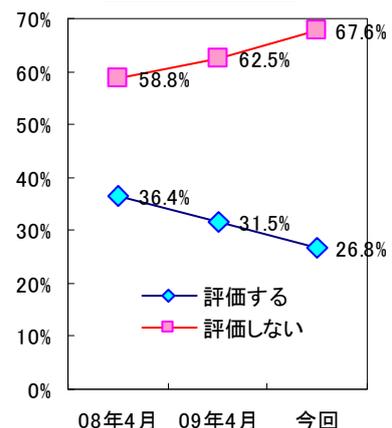
景気のコ入れ・雇用の確保



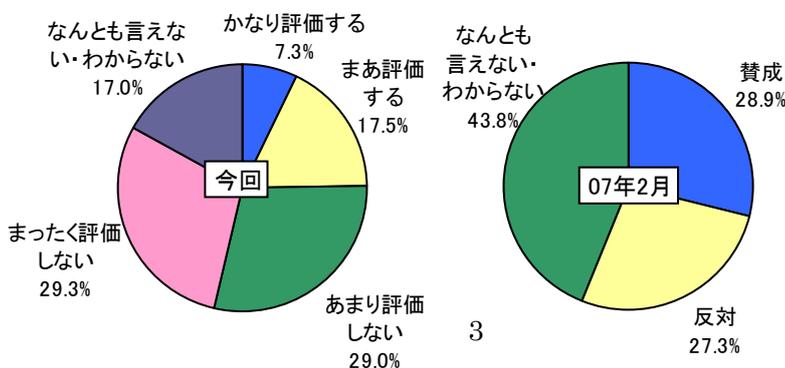
観光の振興



財政のたて直し



長野市の「浅川穴あきダム」建設



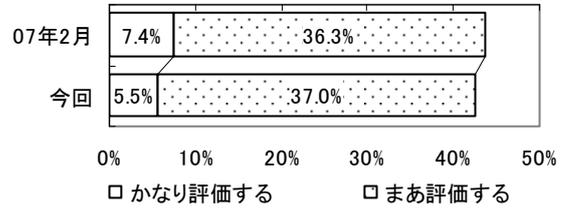
## 県政の手法・県庁運営の評価

### ◆全般的に「評価する」43% 中高年齢層が肯定的多数 若年層は否定的

「評価する」が総体で43%と、村井県政発足半年（07年2月）と比べてめだつた変動はない。「評価しない」は約半数を占め「評価する」を上回る。

男女差はあまりないが、年代層では「評価する」が70代で半数に迫り、50代以上で多数になる。半面、40代以下では「評価しない」が半数を超す。

政党支持層では、民主党で否定的評価が半数を超え、無党派層でも上回る。自民党は肯定的評価が57%にのぼる。

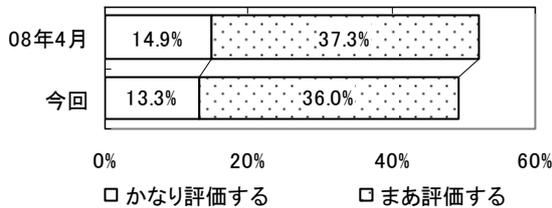


### 個別の運営手法では 「田中県政の転換」評価高め 知事の“説明責任”低め

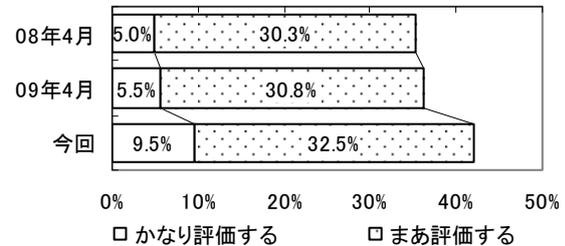
4つ挙げた個別の運営手法のうち「評価する」が最も高いのは田中前県政からの転換・是正で半数に迫る。2008年4月調査と比べて大きな変動はない。次いで「長野県」のアピールが42%に上昇。政権交代で民主党主導となった国政に対する姿勢・主張は35%。2年前の自民党主導の政権当時に比べて10%の大幅ダウン。

県民に対する政策・知事の考えの説明は「評価する」が35%と低かった。村井県政発足半年の「説明している」総体の47%より10%以上も後退している。

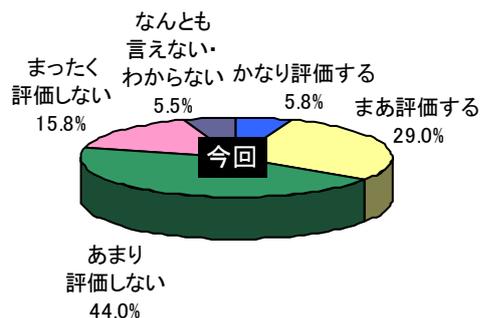
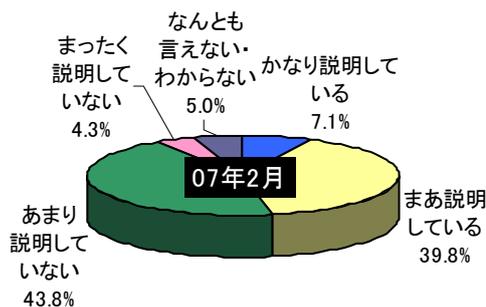
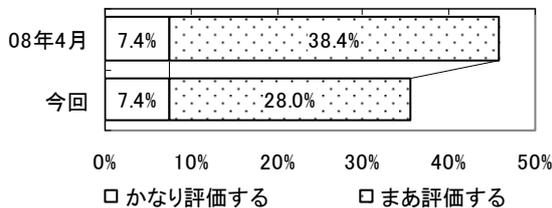
#### 田中県政からの転換・是正



#### 「長野県」のアピール



#### 国政に対する姿勢・主張



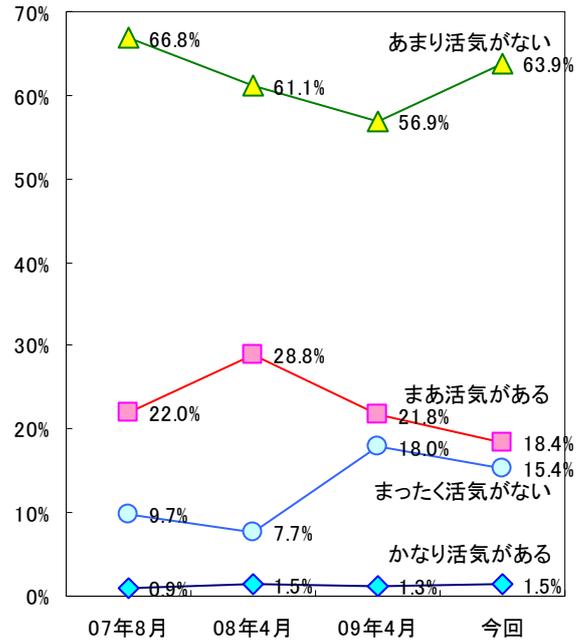
#### 県民に対する政策・知事の考えの説明

## 今回のポイント 知事選を迎える県政

### ◆県の経済・県民の暮らし「活気ある」20%

長野県の経済・県民の暮らしの現況について「活気がある」が総体で20%、「活気はない」は約80%。1年前に比べて「活気がある」が横ばい、「活気はない」はやや増えた。

職業層で「活気がある」は農林業で約30%と最も高く、専業主婦、無職層で平均値を上回る一方で「活気はない」は管理職層、商工・自営で90%を突破するなど厳しい受けとめだ。



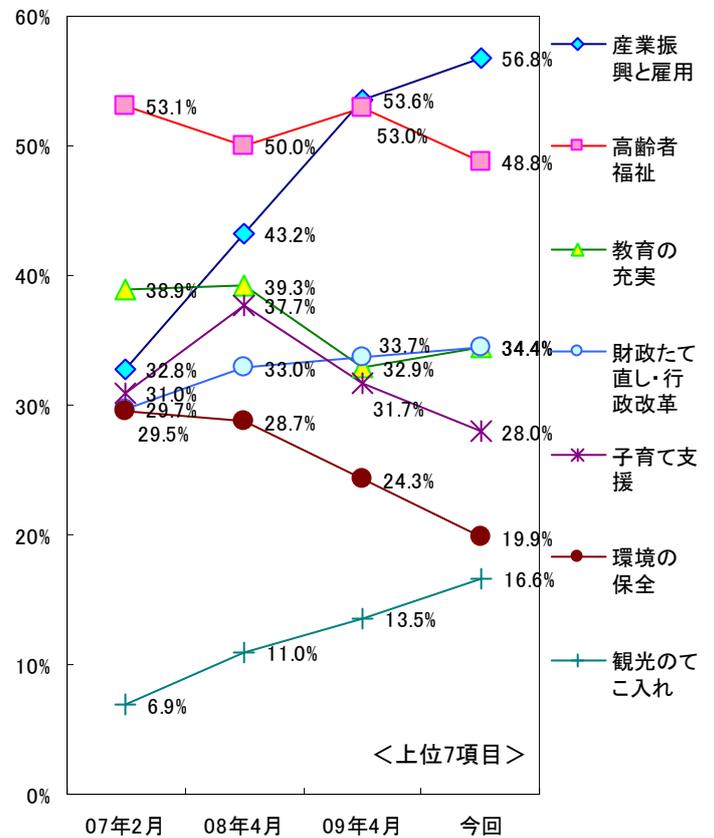
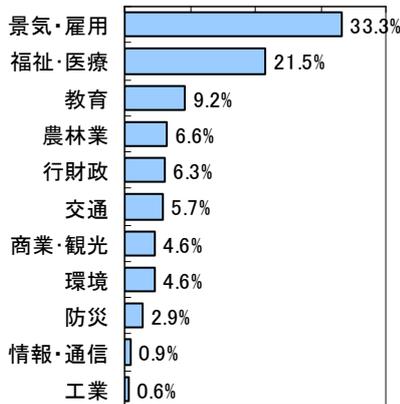
## これからの県政課題

### 力を注いでほしい政策分野 「産業・雇用」飛びぬけ「高齢者福祉」続く

1年前急伸してトップにランクされた「産業振興と雇用」がさらに増え、前回首位に並んだ「高齢者福祉」はやや下がり2位。「財政立て直し・行政改革」が3位をキープし「教育の充実」が浮上して同率となった。

2005年秋の田中県政当時、県政に期待する政策分野は「景気・雇用」が抜きん出るトップ。「福祉・医療」「教育」が上位に続き、現在との違いはみられない。

男女間に大きなバラツキが出る傾向に変わりなく、男性で「産業・雇用」「財政・行革」が高く、女性では「高齢者福祉」がトップ。「教育」「子育て」も高い。

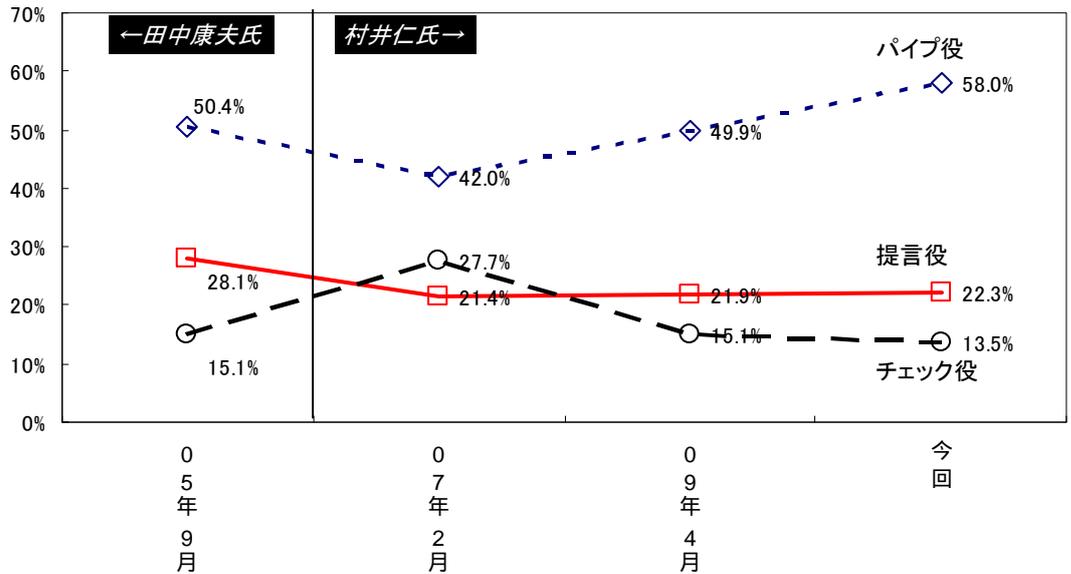


田中県政5周年(05年9月)

## 県議会の役割

## 「知事とのパイプ役」高まり58%

今夏の知事選、来春の統一地方選が日程にのぼり、県議会の役割があらためて問い直される時期に至り「県行政・知事と県民とのパイプ役」が60%近くに伸びた。



「県行政・知事への政策の提言役」は横ばいの20%台で2位を

維持。田中県政を引き継いだ村井知事就任半年では二番手にランクされた「県行政・知事のチェック役」は若干下がった。

パイプ役は女性で67%と大きくリードし、年代層では40代が最も高い。「提言役」は男性で約30%に伸び「チェック役」も女性を引き離す。

村井知事の支持層で「パイプ役」が65%と高い半面、不支持層では「提言役」と「チェック役」が平均値を超える。

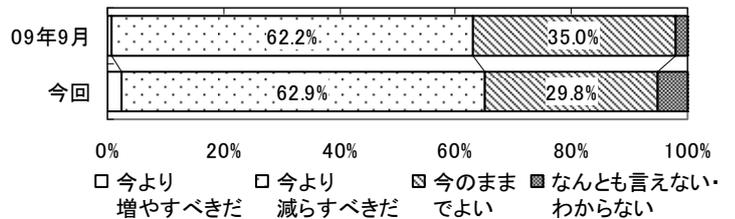
## 県議会の定数

## 今より「減らすべき」60%台続く 「現状のまま」ダウン30%

現在 58 人の県議会定数について「今より減らすべきだ」が63%、「今のままでよい」は30%、「今より増やすべきだ」がごく少数にとどまる。

「削減」は男性で70%を突破する高率。女性は「現状維持」がほぼ3人に1人にのぼる。地域別では「削減」が南信を除いて60%台に乗せる。南信では「現状維持」が35%と高めになっている。

政党支持層では、大半は「削減」が多数だが、民主党68% - 自民党54%の落差があり、全般的に温度差が出ている。無党派層はほぼ平均値に沿う格好になっている。

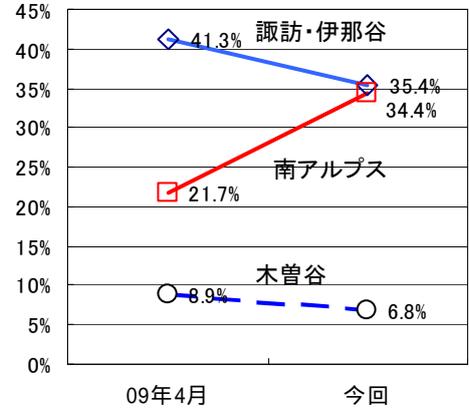


## 国政・課題との関わり

### リニア新幹線ルート 「南ア貫通」追い上げ「諏訪・伊那谷」と拮抗

検討の3案について「諏訪・伊那谷」が35%、「南アルプスを貫く直線」は34%と拮抗。南アルートが追い上げ、1年前の20%もの差を一挙に縮めた。「木曽谷」はやや下降して7%。

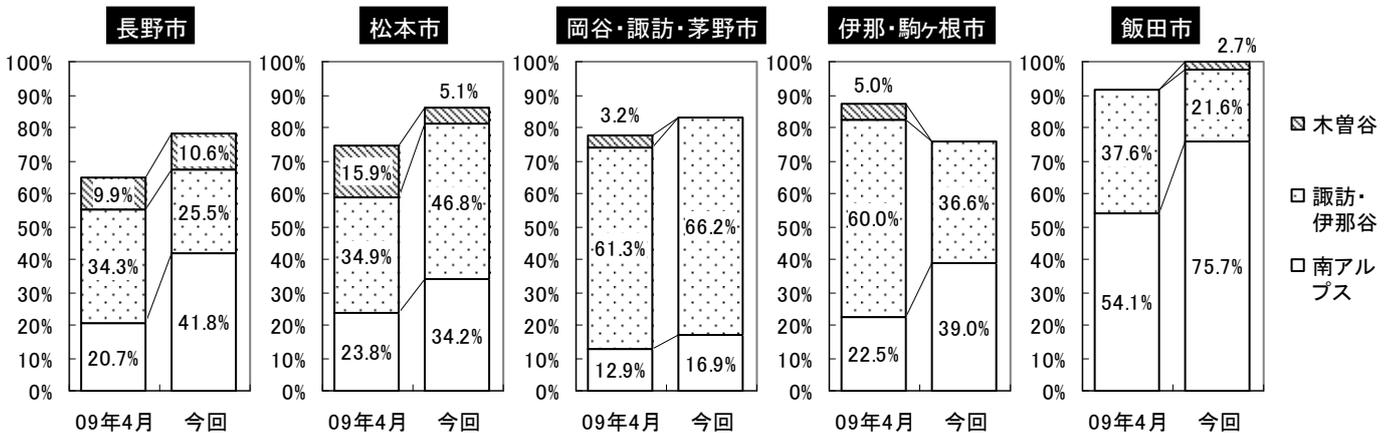
男女ともに諏訪回りが35%前後で歩調をそろえるが、南ア貫通が男性で40%を超え、女性は「なんとも言えない」が高まる。年代層では、諏訪回りが20～30、50～60代で優位。南ア貫通は40、70代でリードする。職業層では管理職、無職層で上回る。



### 「諏訪回り」地元3市で66% 飯田は「直線」76%

地域的にはかなりのバラつきが生じ「諏訪・伊那谷」に諏訪湖周縁の3市が66%と5%上昇。松本市も伸びて47%で続く。

その一方で「南ア貫通」に飯田市が76%と集中し、1年前より20%余の急上昇。伊那・駒ヶ根市でも増え、諏訪回りとはほぼ並ぶ格好になった。諏訪回りが優勢だった長野市は、南ア貫通が42%にアップして逆転し十数%引き離している。

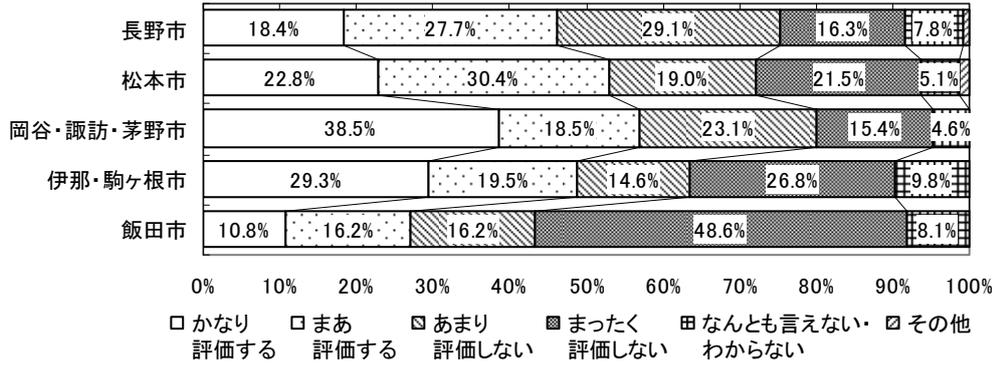


### 村井知事の「諏訪回り・駅は複数」推進 「評価」47% 否定的40%超

村井知事が建設主体のJR東海に対して「諏訪回り・駅の設置は複数」を県の既定方針として要望していることに「評価する」が総体で約半数に迫る一方「評価しない」が40%で接近する。そのうち「かなり評価する」と「まったく評価しない」がそれぞれ約20%を占める。

地域別でみると、諏訪湖周縁3市で「評価する」が57%にのぼり、松本市も半数を超え、伊那・駒ヶ根市もリード。その一方で、飯田市では否定的な受けとめが65%と高い。長野市では伯仲状態になっている。

◆地域別では



村井知事の今後の任期

「今の任期限り」増えて約半数

2期以上が接近

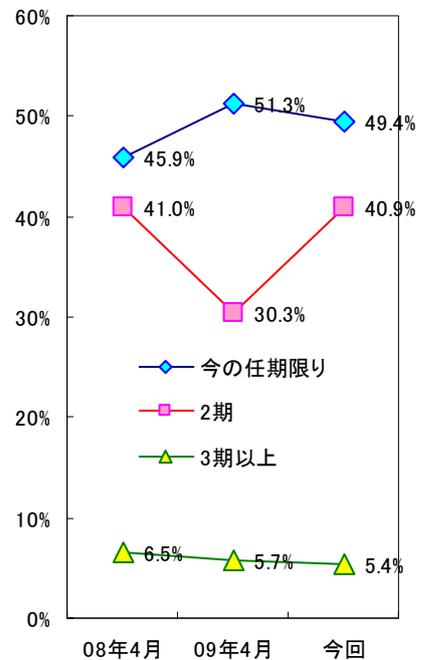
「今の任期限り」が若干下がり 49%。半数前後を占める水準は変わらない。前回落ち込んだ「2期」は10%余アップして40%台を回復した。

「今期限り」は男性で半数を超え、年代層では30代で60%に達し、20代も高くなっている。

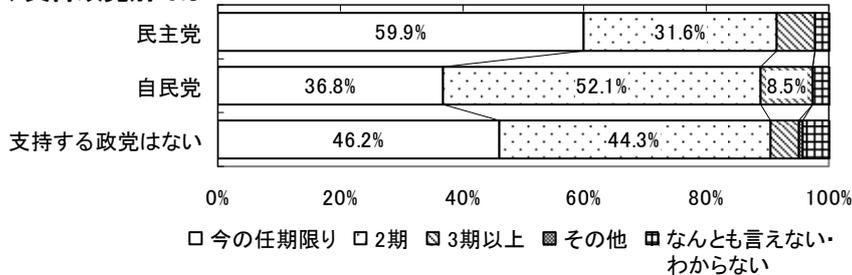
「2期」は男女が並び、70代で48%と「今期限り」を上回る。

政党支持層では「今期限り」が民主党で60%に高まる一方で、自民党は「2期」が半数を超す。共産党、みんなの党、社民党は「今期限り」が大きくリードし、公明党はやや上回る程度。無党派層は「今期限り」46% - 「2期」44%と拮抗する。

村井知事の支持層は「2期」が64%と高く「3期以上」も10%近い。他方、不支持層では「今期限り」が約90%にのぼり高水準が続く。



◆支持政党別では



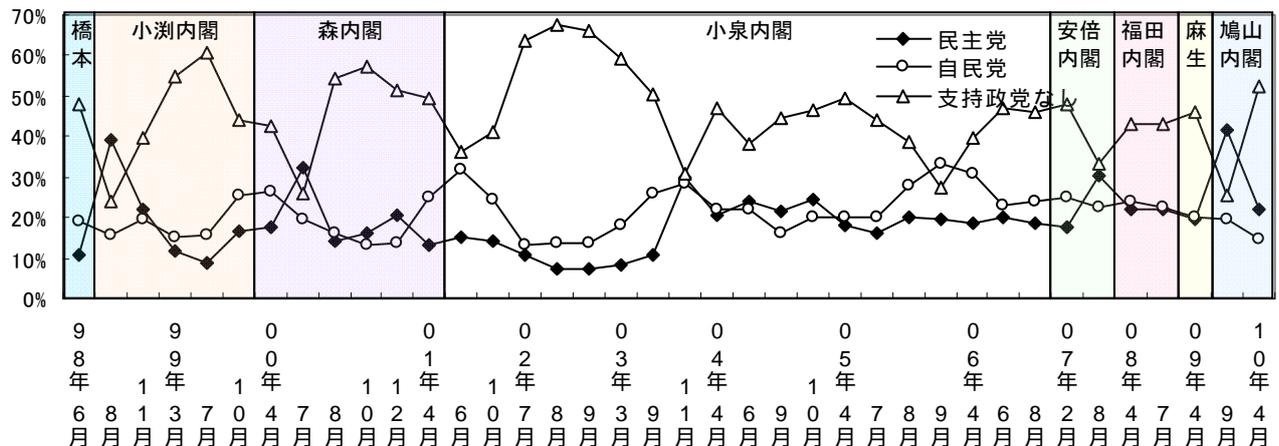
## 支持する政党

### ◆民主が急落22.1% 自民も減り14.6% 支持なし倍増52.5%

民主党が22.1%に急落し、昨年夏の衆院選圧勝で押し上げた40%台の支持率(昨年9月・村井県政3周年調査)がほぼ半減。鳩山内閣の支持率が37.4%、不支持は57.8%と政権批判の高まりに連動する格好になっている。対する自民党も振るわず14.6%に約5%減少。両党の差は「22.4」から「7.5」に一挙に接近した。

3位は共産党が4位から浮上して3.0%。衆院選後に発足したみんなの党が4位(2.3%)に食い込んだ。5位からは僅差で公明党、社民党、国民新党、たちあがれ日本の順で並ぶ。

政党支持なしは52.5%とほぼ倍増。2003年9月(田中県政3周年調査)以来の50%超えとなった。



|        | 98年   |       |       | 99年   |       |       | 00年   |       |       |       | 01年   |       |       | 02年   |       |       | 03年   |       |       |       |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|        | 6月    | 8月    | 11月   | 3月    | 7月    | 10月   | 4月    | 7月    | 8月    | 10月   | 12月   | 4月    | 6月    | 10月   | 7月    | 8月    | 9月    | 3月    | 9月    | 11月   |
| 民主党    | 11.0% | 39.0% | 21.8% | 11.8% | 8.9%  | 16.5% | 17.4% | 32.4% | 14.3% | 16.3% | 20.5% | 13.1% | 15.3% | 14.1% | 11.0% | 7.5%  | 7.4%  | 8.3%  | 10.6% | 29.9% |
| 自民党    | 19.1% | 15.6% | 19.5% | 15.4% | 15.8% | 25.3% | 26.2% | 19.8% | 16.0% | 13.3% | 13.8% | 24.9% | 31.9% | 24.5% | 13.3% | 13.9% | 13.7% | 17.9% | 25.8% | 28.2% |
| 支持政党なし | 47.9% | 24.2% | 39.8% | 55.0% | 60.6% | 44.1% | 42.4% | 26.0% | 54.1% | 57.5% | 51.5% | 49.6% | 36.0% | 41.3% | 63.7% | 67.6% | 66.2% | 59.4% | 50.5% | 30.9% |

| 04年   |       |       |       | 05年   |       |       |       | 06年   |       |       | 07年   |       | 08年   |       | 09年   |       | 10年   |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 4月    | 6月    | 9月    | 10月   | 4月    | 7月    | 8月    | 9月    | 4月    | 6月    | 8月    | 2月    | 8月    | 4月    | 7月    | 4月    | 9月    | 4月    |
| 20.5% | 23.8% | 21.5% | 24.4% | 18.3% | 16.2% | 20.0% | 19.7% | 18.8% | 20.1% | 18.5% | 17.5% | 30.3% | 22.0% | 22.0% | 19.6% | 41.8% | 22.1% |
| 21.9% | 22.1% | 16.1% | 19.9% | 19.9% | 20.3% | 27.8% | 33.1% | 30.8% | 23.0% | 24.1% | 25.2% | 22.6% | 24.0% | 22.6% | 20.0% | 19.4% | 14.6% |
| 47.1% | 38.0% | 44.7% | 46.3% | 49.4% | 44.1% | 38.8% | 27.6% | 39.5% | 47.1% | 46.1% | 48.1% | 33.5% | 43.1% | 43.2% | 45.8% | 25.5% | 52.5% |

### 男女差 民主は男性リード25% 自民は男女並び 支持なしは女性57%

男性の民主党支持が25%に対して女性は20%。昨年秋、40%台の僅差で女性が優位だった状況から、民主党に特有の“男高女低”に再び戻った。自民党には男性が14%。女性は15%とほぼ並んだ。3位の共産党、みんなの党は男性の支持がやや高め。公明党は女性が少しリード。

政党支持なしは女性で57%と高く、男性と10%もの開きが生じた。

#### ◆男女別では

